



# 第8回「おたる案内人」マイスター 検定試験問題

2016年3月20日

小樽観光大学校

\*合格発表は下記のホームページでご確認できます。  
\*URL:<http://www.otaru-kd.com>

各設問で選択問題は番号で、また記述問題は決められた字数で記入しなさい。  
(制限時間90分)

問1

観光の原点といわれる紀元前に著された「観国之光」という言葉が既述された書物は次のどれでしょうか。

1. 易経
2. 書経
3. 詩経
4. 礼記

問2

小樽で蛇の目寿司を経営していた加藤秋太郎はオタモイ海岸に遊園地をつくり、娯楽と憩いの場を市民に提供しました。そのなかに建設された龍宮閣が完成したのは次のどれでしょうか。

1. 大正12年
2. 昭和6年
3. 昭和9年
4. 昭和12年

問3

戦後、日本の高度経済成長にともなって、先行した交通機関は次のどれでしょうか。

1. 自動車
2. 飛行機
3. 客船
4. 客車

問4

かつて安・近・短旅行の北海道の先駆けは函館と小樽でしたが、その背景となった日本の高度経済成長期とは次のどれでしょうか。

1. 昭和20～38年
2. 昭和30～48年
3. 昭和40～58年
4. 昭和50～63年

問5

現在のように小樽が観光都市となったのは、小樽運河保存運動が契機だったといっても過言ではありません。この運動は次のどの期間だったでしょうか。

1. 昭和38年～昭和49年
2. 昭和48年～昭和59年
3. 昭和58年～平成6年
4. 昭和61年～平成13年

問6

昭和61年に小樽運河は現在の姿に整備されました。この時ガス燈は何基設置されたでしょうか。

1. 61基
2. 63基
3. 68基
4. 77基

問7

次の4つのなかで、小樽運河保存運動の特徴として相応しくないのはどれでしょうか。

1. 市民世論の覚醒
2. 地域個性の覚醒
3. 文明型観光の覚醒
4. 文化型経済の覚醒

問8

小樽はこれまで数多くのまちづくり運動が行われてきました。そのもとになったのは明治期のマスコミが表した言葉といわれています。それは次のどれでしょうか。

1. 小樽公民
2. 小樽志民
3. 小樽耕民
4. 小樽港民

問9

1997年に官民一体となり、小樽観光の今後を話し合う事となった会の名称は次のどれでしょうか。

1. 小樽観光誘致協議会
2. 小樽観光協会
3. 小樽観光誘致促進協議会
4. 小樽観光誘致促進協会

**問10**

問9の会が作成した小樽観光に関する報告書名は次のどれでしょうか。

1. 小樽観光の展望
2. 小樽観光の今後
3. おたる観光のこれから
4. 小樽観光を考える

**問11**

「第1回小樽雪あかりの路実行委員会」が開催されたのは次のどれでしょうか。

1. 平成9年
2. 平成10年
3. 平成11年
4. 平成12年

**問12**

小樽雪あかりの路で、中国からの来樽しているボランティアの団体の名称は、次のどれでしょうか。

1. EVOL
2. eVOL
3. iVOL
4. CVOL

**問13**

小樽雪あかりの路で「おたる案内人」が中心となって行っているツアーガイドは次のどれでしょうか。

1. バックヤードツアー
2. 雪あかりの路ツアー
3. 作業風景体験ツアー
4. 裏方雪あかりの路ツアー

**問14**

小樽雪あかりの路で韓国のボランティアの最初の募集を行った韓国人の名前は次のどれでしょうか。

1. キム・ジョンオン
2. ユン・ミンソク
3. キョウ・ミョンホー
4. カン・ミンスク

**問15**

小樽雪あかりの路はさっぽろ雪まつりとは対照的なイベントです。その特徴で間違っているのは次のどれでしょうか。

1. ボランティアが支えている
2. 各会場にはBGMが流れている
3. 手作業で一斉にろうそくに点火
4. ボランティアと来場者が声をかけあう

**問16**

今年の第18回「小樽雪あかりの路」に参加したボランティアの延べ人数は次のどれでしょうか。

1. 2,924名
2. 2,790名
3. 2,474名
4. 2,419名

**問17**

運河中央橋から手宮方面に向いてガイドしています。次の中で正しいのはどれでしょうか。

1. 現在の小樽運河が整備される前の運河の幅は、運河散策路と車道の境目まででした。
2. 運河プラザが入っている小樽倉庫の屋根には4体のシャチホコが載っています。
3. 向こうに見える龍宮橋の左手交差点を渡ったところに見えるのは右近倉庫という大きな木骨石造建築です。
4. ここから手宮方面に小樽運河を見ると、ゆるやかに右にカーブしていますが、これは海岸線に沿って沖を埋めて運河を造ったからです。

**問18**

運河公園でガイドしています。その説明で正しいのは次のどれでしょうか。

1. 公園内にある休憩棟は旧日本郵船(株)小樽支店輸出倉庫を復元したものです。
2. 公園内の運河側に設置されている胸像は南防波堤工事の功労者である伊藤長右衛門です。
3. この噴水の辺りには旧日本郵船(株)小樽支店専用の舟入澗がありました。
4. 旧日本郵船(株)小樽支店の左側は残荷倉庫で、屋根は入母屋造りとなっています。

**問19**

旧早川支店をガイドしています。( ) 内に該当する語句は次のどれでしょうか。

「この建物は木骨石造2階建てで、大きな特徴は朝日、松梅、鶴亀などがデザインされた( )が見事です。」

1. 看板
2. 壁
3. 鬼瓦
4. 卯建

**問20**

旧安田銀行の角(交差点)にいます。次のガイドで間違っているのはどれでしょうか。

1. 旧安田銀行は駅前通りの拡幅工事のため、一旦解体された後、現在の位置に復元されました。
2. 道路の向かい側(港側)は旧小樽米穀(株)社屋(現:カラオケ店)で、建設にあたり周辺の景観に調和する建築ということで都市景観賞を受賞しました。
3. 向かい側(堺町方向)に見える建物は旧第四十七銀行小樽支店で、石造りに見えますが構造は木造建築です。
4. 私たちが立っている所がもともとの海岸線です。ここから海側は埋立地で、小樽倉庫も埋立地に建てられました。

## 記述問題

次の各設問に200字前後の文章で述べなさい（簡条書きは不可）

1. 小樽市は旧手宮線を散策路として整備しました。あなたなら、この散策路をどのように観光に生かしますか。具体的に提案しなさい。

（まちづくり観光論より出題）

2. あなたが思う現在の小樽観光の問題点を明記し、その解決策を提案しなさい。

（観光資源論より出題）

## 総合記述問題

次の設問に400字前後の文章で述べなさい（簡条書きは不可）

現在、北海道では道南から道央圏へ、道央から道東圏、道北圏へと広域観光、周遊観光の対策に力をいれようとしています。私たちの小樽もこれまではおもに市内を中心とした観光企画でしたが、これからは札幌圏、後志圏と連携した観光も求められる時代となっていくと思われます。

そこで、「小樽を拠点とした広域連携観光」という大きなテーマが与えられたとき、あなたなら何を切り口に観光企画を考えますか。企画名、連携する地域、企画のコンセプトを明記し具体的に提案をしなさい。

\*連携する地域名を明記すること。